



中央図書館レクチャーコンサートⅡ  
グスタフ・マーラーとアルマ・マーラー  
～ 二人の映画と歌曲、そしておしゃべりを  
楽しむ午後 ～ を開催します



ターゲット:4-7

令和元年10月3日  
郡山市教育総務部  
中央図書館  
担当:熊田 賢一  
TEL:924-3471

SDGs Goals 4 「質の高い教育をみんなに」

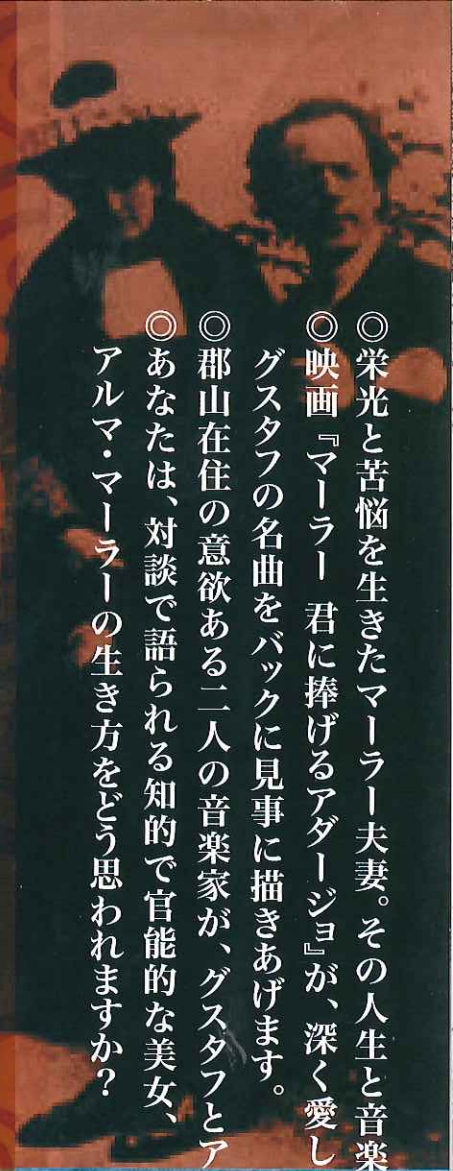
中央図書館の視聴覚ホールにおいて、作曲家グスタフ・マーラーと妻アルマ・マーラーに関する映画上映と歌曲のコンサートを中心に、レクチャーコンサートⅡ（郡山市フロンティア大使・郡山市図書館名誉館長 船山 隆 監修）を開催いたします。

また、市民が音楽への知識と理解を一層深めるため、郡山市図書館所蔵の関連図書等を、会場入口に展示します。

- 1 日 時 10月6日(日) 午後2時00分～午後5時40分
- 2 場 所 郡山市中央図書館 3階 視聴覚ホール
- 3 出演者 紅林 美枝 (メゾソプラノ歌手)  
齋藤 寛美 (ピアニスト)  
船山 隆 (郡山市フロンティア大使・郡山市図書館名誉館長)  
大槻 順一 (楽都こおりやまを考える会会長)
- 4 内 容 (1) お話し 船山 隆  
(2) 映画上映 『マーラー君に捧げるアダージョ』 約100分  
(マーラー夫妻の伝記映画 2010 ドイツ・オーストリア合作)  
(3) 対談 船山 隆・大槻順一  
(4) コンサート アルマ・マーラー 『五つの歌曲』 5曲  
グスタフ・マーラー 『亡き子をしのぶ歌』 5曲  
歌手 紅林 美枝 ・ ピアノ演奏 齋藤 寛美
- 5 その他 入場無料 (先着順)・どなたでも

<中央図書館レクチャーコンサートⅡ>

今回のコンサートは、東京藝術大学名誉教授でもあり、また『マーラー』（新潮文庫）、『現代音楽 1 音とポエジー』（小沢書店）などの著書も多数あり、音楽学・音楽評論を専門とする船山 隆 氏が監修し、自らマーラー夫妻に関する「人」と「作品」の解説も行います。



◎ 栄光と苦悩を生きたマーラー夫妻。その人生と音楽を目と耳で深めるひとときー  
◎ 映画『マーラー 君に捧げるアダージョ』が、深く愛し合う故に傷つけ合った二人の姿を、グスタフの名曲をバックに見事に描きあげます。  
◎ 郡山在住の意欲ある二人の音楽家が、グスタフとアルマの歌曲に果敢に取りくみます。  
◎ あなたは、対談で語られる知的で官能的な美女、アルマ・マーラーの生き方をどう思われますか？



## 中央図書館レクチャーコンサートII

# グスタフ・マーラーとアルマ・マーラー

— 二人の映画と歌曲、そしておしやべりを楽しむ午後 —

令和元年 **10月6日** [日]

午後2時開演 [午後1時30分開場]

入場無料 [先着順]

郡山市中央図書館3階

視聴覚ホール

〔郡山市麓山1-5-25〕

【お問い合わせ：024-923-6601】

対談：船山隆「郡山市図書館名誉館長」

大槻順「楽都こおりやまを考える会会長」

映画：『マーラー 君に捧げるアダージョ』

『マーラー夫妻の伝記映画』2010／

ドイツ・オーストリア合作

コンサート：紅林美枝「メソソプラノ」

斎藤寛美「ピアノ」

曲目：アルマ・マーラー《5つの歌曲》

グスタフ・マーラー《亡き子を偲ぶ歌》

主催：郡山市中央図書館

後援：郡山文化協会、楽都こおりやまを考える会、  
郡山女子大学、郡山女子大学附属高等学校

1981年、視聴覚ホールをもつ新館が建てられたこの中央図書館は、2001年に斬新なせんだいメディアテークが建設され東北一の地位を仙台に譲った観があるが、演奏会や講演会等を開催するこの244席のホールは楽都郡山にまことにふさわしい。

私は図書館の名誉館長に就任した2016年4月に「音楽を読む」というお話をした。大作曲家ストラヴィンスキーが「眼をつぶって音楽を聴く馬鹿がいる」という通り、音楽は耳と眼と皮膚と頭脳に開かれていると語った。2017年5月には「異邦人グスタフ・マーラー」楽都ウィーンの天才作曲家」という講演も行った(郡山文化協会主催)。ボヘミアの寒村カリシュト生まれのユダヤ系のマーラー(1860-1911)は、1897年楽都ウィーンの宮廷歌劇場指揮者に登りつめる。彼の音楽の中で、かつての「北の街郡山」と「楽都郡山」が溶け合うイメージを私はもっている。今回この問題をさらに探りたい。

今後このシリーズで、「文化と音楽の諸相」を取り上げたいと思います。ここで、心の中の音楽の領分を拡げてみませんか？「スポーツと音楽」「E Musik(真面目な音楽)とU Musik(娯楽音楽)など、切り口を模索しています。

出演者紹介

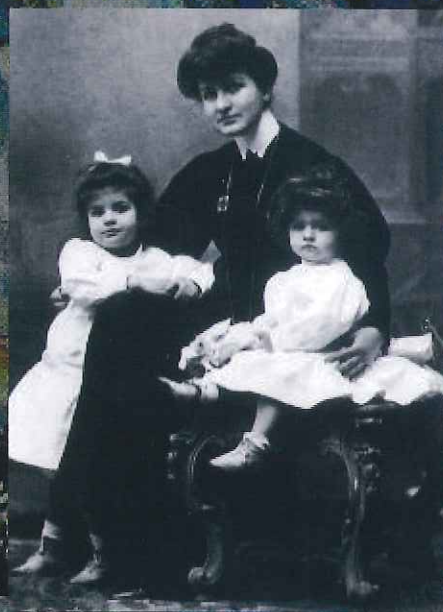
◎紅林美枝 メゾソプラノ歌手。県立安積女子高等学校を経て山形大学音楽文化コース、同大学院音楽教育専修音楽分野修了。山形県ジュニア音楽コンクール金賞、日本クラシック音楽コンクール奨励賞受賞。ウィーン秋期特別音楽アカデミー修了。「山形交響楽団ニコーイヤーコンサート」「ペーゼンドルファーザールコンサート(ウィーン)」等に出演。東北各地を中心にソリストとして活躍。声楽を渡部昭子、藤野祐一、藤野恵美子、野村陽子、オルガ・ワルラ・コロの各氏に師事。郡山女子大学附属高等学校音楽科非常勤講師。二期会会員。

◎齋藤寛美 ピアニスト。県立安積女子高等学校を経て山形大学音楽文化コース卒。第4回東北シヨパン学生ピアノコンクール大学生の部銅賞、第9回東北青少年音楽コンクール最優秀賞ほか受賞。本名徹次指揮大阪シンフォニカー交響楽団、ポーランド・クラクフ室内管弦楽団(シヨパン)のピアノ協奏曲第2番と共演。現在、ヤマハミュージッククリエイト郡山店ピアノ講師。FCT郡山少年少女合唱団ピアニスト。

◎船山隆 1941年郡山市生まれ。安積高校、東京藝術大学、同大学院出身。現在、郡山市フロンティア大使、郡山市図書館名誉館長、東京藝術大学名誉教授。専門は音楽学・音楽評論『現代音楽I』ほか著書多数。サントリー学芸賞、福島県外在任功労者知事表彰ほか。

◎大槻順一 1938年郡山市生れ。楽都こおりやまを考える会会長、郡山文化協会顧問・前会長、郡山文化協会会長、郡山市民オーケストラ会長を長年務め、市の文化活動に指導的発言を続けている。郡山商工会議所元副会頭。今年春に「旭日双光章」を受勲。

船山隆 [監修者]



左から夭折した長女マリア・マンナ、アルマ、次女アンナ・ユスティエネ



船山隆



紅林美枝



大槻順一



齋藤寛美